学校番号	２１１

令和５年度　理科（地学基礎）

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	啓林館「地学基礎」						
副教材など	浜島書店「ニューステージ　地学図表」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法など）

地学基礎の授業を通して、現在や過去の地球・宇宙の様子や起こっている現象について学習する。ただ知識を学ぶだけでなく、防災など自分の生活に役立てたり、地球温暖化など地球や自分の将来について考えたり、自分自身を省みるきっかけとしたりするなど、学んだ知識を活かしてほしい。授業の中でも、知識を活かして様々なことを考える活動に取り組む予定である。

予習については別途指示をする。授業中は内容について自分なりに考えを深め、復習は家に帰りその日学んだことを思い出してほしい。テスト前にはしっかりとその範囲の理解を深めてほしい。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。目的意識をもって観察，実験などを行い，探究する能力と態度を身につける。地学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を身につける。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観	a:関心･意欲･態度	b:思考・判断･表現	c:観察・実験の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	日常生活の経験と関連させて、地球で起きている現象に興味・関心を持つ。	地球科学の現象に問題を見出して探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し適切に表現する	地球科学に関連する観察や実験を行う。その過程や結果を的確に記録整理する。	学習内容に合わせて基本的な概念や原理原則を理解し知識を身につける。
評価方法	学習状況の観察 レポート・振り返りの内容 授業での発表	レポート・振り返りの内容 授業での発表 定期考査の結果	学習状況の観察 観察･実験のレポート、パフォーマンステスト 定期考査の結果	定期考査の結果 レポートの内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価する。				

４　学習の活動

※ 生徒の様子を見て、学習する順番を変更する場合がある。

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1学期</td><td rowspan="5">地球の構成と運動</td><td>地球の形と大きさ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="5">a: 火山や地震の震源の分布とプレート境界の関係を読み取ろうとしている。火山や地震による自然災害について興味を持ち、自然災害から身を守るための方法を考えようとしている。
b: 地球の形や大きさを推定することができる。地震や火山の原理をプレートテクトニクスをもとに説明することができる。初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。ハザードマップなどを用いて、地震や火山などの自然災害に遭遇した時にどのように行動することができるか、説明できる。
c: 歩いて 2 地点間の距離を求めることができる。火成岩を分類することができる。
d: 地球の構成と運動に関する知識を理解する。</td><td rowspan="5">a: 振り返り、レポート、授業中の様子
b: レポート、授業中の発表、定期考査
c: 観察・実験の様子、パフォーマンステスト
d: レポート、定期考査</td></tr>
<tr><td>地球の内部構造</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>プレートの運動</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>火山活動</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>地震活動</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">地球の変遷</td><td>地層のでき方</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a: 化石の観察の際、詳細にスケッチをしたり、多くの種類の化石を観察したりしている。自分の興味がある地質時代について詳細に調べている。
b: 堆積構造や地質構造の成因を説明することができる。化石から古環境や年代を推定することできる。</td><td rowspan="3">a: 振り返り、レポート、授業中の様子
b: ワークシート、授業中の発表、定期考査</td></tr>
<tr><td>地質構造の形成</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>化石と地質時代の区分</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

2学期	地球の変遷	先カンブリア時代	○			○	c: 堆積岩、変成岩、化石の分類をすることができる。 d: 地層、地質構造、地球史について理解する。	c: 観察・実験の様子、パフォーマンステスト d: レポート、定期考査
		顕生代	○			○		
	大気と海洋	大気の状態	○		○	○	a: 大気と海洋に関して、自分の興味があることについて調べている。気象災害について興味を持ち、気象災害から身を守るための方法を考えようとしている。 b: モデル実験より、地球のエネルギー収支がつりあっていることを説明することができる。大気の大循環と海流の関係、日本の四季の天気の特徴について原因とともに説明することができる。 c: 雲を作ることができる。天気図を読み取ることができる。 d: 大気と海洋に関する知識を理解する。	a: 振り返り、レポート、授業中の様子 b: レポート、授業中の発表、定期考査 c: 観察・実験の様子、パフォーマンステスト d: レポート、定期考査
		地球のエネルギー収支		○		○		
		大気の大循環		○		○		
		海洋の構造と循環	○	○		○		
		日本の四季	○	○		○		
3学期	太陽系と宇宙	太陽系の誕生	○	○		○	a:宇宙について興味があることについて調べる。 b:太陽や太陽系の誕生について説明することができる。宇宙について疑問に思ったことについて、自分の考えを説明できる。 c: 太陽系モデルから太陽系の概観について説明できる。 d:太陽系や宇宙についての知識を理解する。	a: 振り返り、レポート、授業中の様子 b: レポート、授業中の発表、定期考査 c: 観察・実験の様子、パフォーマンステスト d: レポート、定期考査
		太陽	○			○		
		太陽と恒星			○	○		
		太陽の誕生と進化		○		○		
		宇宙の構造	○		○	○		
		宇宙の誕生	○		○			

※表中の観点について

a:関心･意欲･態度　b:思考･判断･表現、c:観察･実験の技能　d:知識・理解